

平成 30 年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
阿寒地域部会・摩周地域部会（合同開催）

議事概要

1. 日 時：平成 30 年 6 月 22 日（金）13:30～15:00
2. 場 所：弟子屈町社会老人福祉センター 大集会室
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議 事

■開会

○環境省阿寒摩周国立公園管理事務所長 河野通治 挨拶

日頃から環境行政にご理解ご協力いただき感謝。

平成 28 年 12 月にステップアッププログラムを策定して約 1 年半が経過。各ビューポイントでの取組やアクセスルートでの取組など様々な点でご協力いただき改めて感謝。今年には 2020 年までの国立公園満喫プロジェクトの折り返しの年。阿寒摩周国立公園としてのこれまでの取組を振り返りながら中間評価についてご意見をいただければ。短い時間ではあるが、満喫プロジェクトがより進んでいくよう忌憚のないご意見をいただきたい。

■議題

- (1) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正案について

○環境省より資料 1 に基づき説明。

※意見等なし

- (2) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会の開催予定について

○環境省より資料 2 に基づき説明。

※意見等なし

- (3) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトの中間評価について

○環境省から資料 3-1、3-2、3-3 に沿って説明。

以下、各構成員より補足説明。

○補足事項

【清里町 企画政策課 本松昭仁課長】

- ・ 昨年 of 名称変更に伴い神の子池が国立公園に編入し、観光客もかなり増加している。一方、道路についても国有林の林道ということで、大きな穴などが増えており、車の事故が懸念される場所である。神の子池を楽しんでもらえる対策・構想・方針が必要になってくるということから、今年度、資料 3-3 に記載の計画を

策定する運びとなった。環境の整備等について具体的な取組をする上での計画ということで策定する予定。

- ・裏摩周と神の子池をつなぐトレイルルートの検討については、調査はすでに環境省や網走南部森林管理署の協力を得ながら実施済みである。今年度は、実際に整備を進めながらトレイルルートの開設と、さらに踏み込んだ展開をしていきたい。

【美幌観光物産協会 志太 真人事務局長】

- ・屈斜路湖の外輪山、藻琴山～美幌峠～津別峠間の約 20km に、尾根伝いに歩く歩道を作ろうとしている。今現在は何も道がついていない状態だが、道をつけてトレッキングを楽しんでもらいたい。今年度から美幌地区三町広域観光協議会（美幌町・大空町・津別町）を組織し、北海道観光振興機構の補助金も活用しながら、細かな調査を実施する。すでに 5 月 3 日にスノーシューで縦走しており、次は 6 月 29 日に藻琴山を歩く予定。資料 3-3 の 7 ページ記載の通り調査を行いながら、実施主体や、維持管理なども考えていく。雲海の発生予測も実施しているところであり、ツアーも考えている。観光客の増加につなげていきたい。
- ・取組の実施主体について、当初、他町とのバランスから美幌町が外されていたが、できれば加えて欲しい。

【経済産業省 北海道経済産業局 情報・サービス政策課 高橋 司参事官】

- ・本日のご説明の中でいくつかアドベンチャーツーリズムというキーワードが出てきた。昨年度から運輸局と連携しながら、運輸局は全道域、私どもは阿寒地域・道東地域でのアドベンチャーツーリズムの振興を支援させていただいた。資料 3-3-の 8 ページの記載には「阿寒を中心としたエリアマーケティング戦略を策定」と書いているが、私どもの HP に載っている戦略は、アドベントチャーツーリズムに向けて、どういった地域の方を受け入れるのか、北海道の中では何が足りないのかといった調査・分析や、ATTA の視察で賜った意見などをまとめたものであり、中身的には北海道・道東全域に使えるものなので参考にさせていただきたい。今年度も運輸局と連携しながら特に阿寒地域を含め、道東地域を中心としてアドベンチャーツーリズムの取組を支援させていただきたい。
- ・同資料の 2 ページの記載については、アドベンチャーツーリズムは体験のみならず文化も重要ということであるので、地元でのアイヌ文化関係の取組として、アイヌコタンの整備を、私どもの商店街施策を活用して支援を行う予定。

【中標津町観光協会 田村 道明専務理事】

- ・資料 3-3-の 1 ページに記載の中標津空港の観光案内板の設置については、先日も利用客に感謝されている。外国語版について今後活用していきたい。ありがと

うございました。

○環境省から資料3-4に基づいて説明

以下、補足説明や質問等。

【阿寒摩周国立公園管理事務所 河野通治所長】

- ・資料3-4の最後3枚（報告案）については本省から指示のあった様式に基づいて作成している。
- ・国立公園の訪日外国人利用者数については、観光庁の訪日外国人動向調査のデータを元としている。残念ながら阿寒摩周国立公園では減少という結果が出ているが、実際に正確な数字というわけではない。北海道庁やエコミュージアムセンターなどその他のデータでは増加傾向を示しており、みなさまの実感でも増えていると思うので、そういったところも中間評価の中ではアピールできればと考えている。

【釧路市産業振興部 阿寒観光振興課 森 昌弘主幹】

- ・前半お話いただいた、アクションプログラムの策定について、こういったものになるのか、ステップアッププログラムとの棲み分けについてももう少しご説明頂きたい。

【阿寒摩周国立公園管理事務所 河野 通治所長】

- ・アクションプログラムは本省で取りまとめるものであり、8公園の全体的な取組や、今回プラスされている3公園の取組を見渡した上で、全体的としてどうすべきかを反映するものである。それを踏まえた上で阿寒摩周国立公園として必要があれば、ステップアッププログラムも改正していく流れとなる。アクションプログラムの詳細は次の有識者会議で示されると聞いている。

※その他、特段の意見はなく、阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト中間評価（案）については修正なく、6月29日に開催される有識者会議において報告することとなった。

(4) その他

○全体を通しての意見等。

【足寄町 経済課 村田 善映課長】

- ・資料3-3の4ページに記載されている計画について。H29年5月にオンネトー・雌阿寒岳エリアの活用を検討する、魅力創造委員会を設置。1年経過して、満喫プロジェクトをベースにしながら、この周辺一帯を将来利活用するための計画

がまとまりつつある。今後は実施に向けて動いていくところである。当初満喫プロジェクトで掲げていたグランピングは計画を修正し、オンネトー野営場や駐車場の整備を進める方向となった。残りわずかではあるが、みなさまのご協力の下、実施していきたい。

【阿寒摩周国立公園 河野 通治所長】

- ・オンネトー・雌阿寒岳地区については他のビューポイントと違い、大規模な観光開発がされていない地区。今回の満喫プロジェクトをきっかけに町民を中心としてこの地域の魅力をどう発信していけるのか考えて頂いており、我々としても魅力発信に協力したいと考えている。引き続き宜しくお願ひしたい。

【経済産業省 高橋 司参事官】

- ・資料 3-2 で、アトキンソン委員の北海道の自然に対する評価が載っていたが、昨年来ていた ATTA 幹部の 3 名はすべてアメリカ人であり、北海道の自然は荒々しい自然とは違い、包まれて癒やされるようである、そのような違いは差別化できると評価していた。来られる方によって評価も違うのでは。一口に欧米系といっても来られる国によっては評価が違うというのがよくわかった。

【阿寒摩周国立公園管理事務所 河野 通治所長】

- ・資料 3-2 については、概要ということで主な指摘事項についてまとめたものである。有識者会議委員の視察結果についてはまとまった時点で地域協議会のみなさまにも情報提供させていただく予定。

【弟子屈町 観光商工課 観光振興係 守屋 憲一係長】

- ・参考資料 1 について、昨年 12 月の合同会議の際にお話させていただいた、展望台に樹木が茂って展望が悪いといった問題について、具体的な進捗は？

【阿寒摩周国立公園管理事務所 河野 通治所長】

- ・裏摩周展望台については 4 月に関係者が集まり、眺望を良くするために一部手を入れている。摩周湖第一についても、展望台のあり方については、北海道が主導し関係者からなる検討の場で調整すると聞いている。

【阿寒摩周国立公園管理事務所 山本 豊管理官】

- ・裏摩周展望台の眺望の支障となる枝払い作業は、北海道オホーツク振興局が中心となって、清里町、きよさと観光協会、森林管理署、環境省等と調整の上、今年の 4 月中旬に左側の一部を実行した。今後の計画としては、必要な調整を行い秋に右側の作業を行う予定。

■閉会

○北海道釧路総合振興局 暮らし・子育て担当部 阿部 一之部長

本日はお疲れ様でした。満喫プロジェクトにつきましては、地域協議会の構成団体の皆様のご支援により、少しずつ成果が目に見える形になっている。北海道としても訪日外国人利用者数 15 万人の達成に向けて、担当するハード整備を着実にやることはもちろん、これから取組が本格化するソフト事業も推進されるよう、共同事務局の一員として役割を果たしていきたいと思う。引き続き皆様方のご協力をお願いする。